

打 合 覚		確 認				作 成
						飯沼 19.7.24
工 事 名	丹澤邸 新築工事				頁	/
日 時	2019 年 7 月 23 日 9:00 ~ 11:00			出	雨宮さん	
議 題	第 1 回 監理			席	富岳ガス 望月さん	
場所・手段	現場			者	飯沼	
配筋検査を実施しました。指摘事項はありましたが、その場で修正されたので合格としました 詳細は別紙検査チェックシート・記録書をご確認ください						
富岳ガスと現場にて打ち合わせを行いました 内容は 1 階平面図に赤で記載しましたのでご確認ください。以下内容の説明です ボイラーについてはボンベとの離隔距離が必要のため洗面室部の外部に計画しましたが 隔壁板を設置することにより浴室近くに設置が可能とのことです 浴室の追い炊き等においてタイムラグを少なくできるので、この提案を受け入れたいと 思います。尚、隔壁板設置による料金はかからないとのことです 雨宮さんから話があったと思いますが、ガスファンヒーターを利用する可能性があるため LDK にガスコックを設置するとのことです。場所は平面図に記載しましたがいかがで しょうか。尚この工事も無償となります。(ファンヒーターを採用しない場合でも無償) ファンヒーターに関しては富岳さんから改めて説明するとのことです						
雨宮さんから 1 階床下断熱材の変更依頼がありました 現設計は【押出法ポリスチレンフォーム厚 80 (発砲スチロールのようなもの)】ですが、 雨養生は行うものの、時期的に雨が多いため断熱材と床構造用合板に雨水が侵入する恐れが あり、過去に床仕上げにシミのようなものが出た事例があるそうです。 このため雨水が侵入しても通してしまうグラスウール断熱材 (32k の堅いもの) に変更でき ないかということでした 僕は今までポリスチレンを採用しシミの経験はありませんが、可能性があるならば回避したい のですが、性能に関することなので今回報告し、承認いただいた上で決定したいと思います ちなみに変更した場合の断熱計算をしてみました。結果は以下の通りです 現設計の建物全体の熱貫流率 0.55 (等級 4 は 0.87 以下が基準となります) 床をグラスウールに変更した場合の建物全体の熱貫流率 0.56 計算結果はわずかに性能が落ちるものの、等級 4 はクリアーしているので、変更しても良い と思います。今月末に雨宮さんと打ち合わせがあるそうなのでその時カタログ等で説明する とのことでしたのでよろしく申し上げます						

写し配付 : 顧客 ・ 営業担当者 ・ 現場代理人 ・ ( ) ・ ( )

飯沼建築設計事務所